

広島市植物公園 見どころ案内

クレマチス ウンナンエンシス (キンポウゲ科)

中国原産で、真冬に咲く常緑クレマチスです。白いベル型の花です。

カラコエと冬の鉢花展

～2月12日(展示温室)

ベル咲きでオレンジ花のレブマニイ、黄花のヨングマンシーなど珍しいカラコエが多数展示されています。

シンニンギア (断崖の女王) (イワタバコ科)

ブラジル原産で、原産地では崖にへばりつくように生えています。茎葉はピロードのような毛に覆われ、銀白色に見えます。オレンジ色の花が咲いています。

大温室改修のため 休館中

リニューアルオープンが平成30年春ごろです(予定)。

マンドレイク (ナス科)

別名マンドラゴラ。引き抜くと悲鳴を上げるという伝説で有名な薬用植物です。薄紫の可憐な花を咲かせています。

球根ベゴニア (シュウカイドウ科)

当園では年間を通じて球根ベゴニアが開花していますが、特にハンギタイプは冬から春にかけて最も豪華に咲きます。

寒椿など (ツバキ科)

ツバキ園には肥後椿を中心に200品種約600本のツバキが植えられています。現在は寒椿などがよく咲いています。

シナマンサク

(マンサク科)

中国中部原産の落葉小高木。庭木などに使われることが多く、花は1～3cmのリボン状花卉が伸びています。黄金色で、中心部が暗赤色です。

ソシンロウバイ

(ロウバイ科)

名前に梅がつくことから梅の仲間と勘違いしやすいですが別科です。艶のある半透明の花卉が蠟細工の様であり、臘月(旧暦12月)に咲くのでこの名前になったと言われています。

ハボタンのタペストリー

(アブラナ科)

紫や白に色づいたハボタンを使って、絨毯のように仕上げました。

ヒイラギナンテン

‘チャリティー’ (メギ科)

北アメリカ原産で、花の少ない真冬に香りのある黄色い花を咲かせています。

植物写真コンテスト作品展

～2月8日(展示室)

園内の植物や風景をテーマに募集した植物写真コンテストの入賞作品を展示します。

